（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	総括表	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 本部：統括責任者 統括責任者補佐 事務員 市民体育館（本部） 支部：地区体育館 武道館・弓道場 東山公園管理センター 陸上競技場事務所 淀江運動公園事務所 各施設等巡視 計５１名
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 以下の研修を実施された。 ５月　防災防犯研修 ６月　救命救急講習 11 月　個人情報保護」研修 12 月　避難訓練 １月　剪定講習 ２月　救命救急講習 避難訓練 ３月　施設管理研修 安全運転講習 接遇研修 救命救急講習 避難訓練
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認

	２　利用者に関する業務			
	⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比 101.6%
	⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
	３　保守点検並びに清掃等の業務			
	⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
	⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
	⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
	⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査

	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（10点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**	B	資料確認
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**	B	資料確認
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		経営状況分析については、後期に実施

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （５５）点/（９５）点 ×100＝（５７．８） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～9月〕　A	前年度〔平成２７年４～9月〕　B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	―	―	―	各施設の表に記載
施設利用者数	３３５，４０１人 （２２９，７３５人）	３２９，９３９人	＋５，４６２人 １０１．６（%）	

※（　　）内は休止期間を除いた４～７月の人数

※2　事業収支

（1）収　入　　（単位：千円）

項　　目	本年度〔平成２８年４～7月〕　A	前年度〔平成２７年４～9月〕　B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
指定管理料	５７，２９０	９６，７３９	－４３，６９２ ５４．８（%）	２８年度は利用料金制を採用し、指定管理者の収入

施設使用料	１０，６４３	―	―	としたため。 ２８年８・９月は業務休止期間だったため。
合　　計	６７，９３３	９６，７３９	－２８，８０６ ７０．２（%）	

（2）支　出　　（単位：千円）

項　　目	本年度〔平成２８年４～７月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	３８，９５２	５９，５０１	－２０，５４９ ６５．４（%）	２８年度は利用料金制を採用し、指定管理者の収入としたため。 ２８年８・９月は業務休止期間だったため。
管理運営費	２８，９８１	３７，２３８	－８，２５７ ７７．８（%）	
（うち委託料）	２，４１５	４，６４５	－２，２３０ ５１．９（%）	
合　　計	６７，９３３	９６，７３９	－２８，８０６ ７０．２（%）	

※3　経営状況分析指標

項　　目	本年度〔平成２８年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	備　　考
①事業収支	０	０	―	
②利用料金比率	１５．６（%）	―	―	２７年度は利用料金収入は市の収入としていた。
③人件費比率	５７．３（%）	６１．５（%）	－４．２ポイント	
④外部委託費比率	３．５（%）	４．８（%）	－１．３ポイント	
⑤利用者当たり管理コスト	２９５円	２９３円	＋2円 １００．６（%）	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	２４９円	２９３円	－４４円 ８４．９（%）	

①事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：（利用料金収入/収入）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：（人件費/支出）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：（外部委託費合計/支出）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者１人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者１人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

個別施設の評価表に記載

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（1）市民体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 本部機能、東山体育館を含む統括・補佐　各１名 管理人４名、事務員３名
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 132.7% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		経営状況分析については、後期に実施

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１０８日	＋４１日 １３７．９（%）	前年度に耐震診断による休館があったため。
施設利用者数	２０，３９３人	１５，３５８人	＋5，０３５人 １３２．７（%）	〃
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １０８日／１０８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，２１９，７２０円	１，４２８，０５７円	－２０８，３３７円 ８５．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２）東山体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 市民体育館管理人が兼務
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 76.9% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、備品について、管理記録は適切に記録･保管されていた。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。

	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１４７日	＋2日　、１０１．３(%)	
施設利用者数	１２，０６８人	１５，６７３人	＋３，６０５人 ７６．９（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １４９日／１４９日	１００% １４７日／１４７日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	６３５，０２０円	８４６，７２０円	－２１１,７００円 ７４．９（%）	実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（３）住吉体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 68.57% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取り組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		経営状況分析については、後期に実施

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１５０日	１４８日	＋２日 １０１．３（%）	
施設利用者数	８，０２７人	１１，７１７人	＋３，６９０人 ６８．５（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １５０日／１５０日	１００% １４８日／１４８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５４０，４４０円	７１０，０９０円	－１６９，６５０円 ７６．１（%）	実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（４）加茂体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　78.3% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取り組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		経営状況分析については、後期に実施

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１５６日	１４８日	＋8日、１０５．４（%）	
施設利用者数	９，４１８人	１２，０２２人	＋１，４２２人 ７８．３（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １５６日／１５６日	１００% １４８日／１４８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５９１，２２０円	７６８，３３０円	－１７７，１１０人 ７６．９（%）	実績減

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（５）南部体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　99.9% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取り組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		経営状況分析については、後期に実施

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１５０日	１４８日	＋２日 １０１．３（%）	
施設利用者数	７，６８７人	７，６９３人	－６人 ９９．９（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １５０日／１５０日	１００% １４８日／１４８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５７６，７５０円	６６７，１２０円	－９０，３７０円 ８６．４（%）	実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（６）弓ヶ浜体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　88.4% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		経営状況分析については、後期に実施

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１５０日	１４８日	＋２日 １０１．３（%）	
施設利用者数	６，４１６人	７，２５４人	－３８３人 ８８．４（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １５０日／１５０日	１００% １４８日／１４８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５６９，５７０円	６９７，３５０円	－１２７，７８０円 ８１．６（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（７）美保体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 67.3% 施設稼働率 100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		経営状況分析については、後期に実施

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１５０日	１４８日	＋２日 １０１．３（%）	
施設利用者数	６，０５１人	８，９８３人	－２，９３２人 ６７．３（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １５０日／１５０日	１００% １４８日／１４８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	４８４，８５０円	７０５，８２０円	－２２０，９７０円 ６８．６（%）	実績減

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（８）福米体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成２９年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　109.3% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		経営状況分析については、後期に実施

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１５０日	１４８日	＋２日 １０１．３（%）	
施設利用者数	８，１８１人	９，４２０人	－１，２３９人 ８６．８（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １５０日／１５０日	１００% １４８日／１４８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	６６５，３００円	８７０，２６０円	－２０４，９６０円 ７６．４（%）	実績減

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（９）福生体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 100.3% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１５０日	１３８日	＋１２日 １０８．６（%）	
施設利用者数	１０，７２４人	１０，６８８人	＋３６人 １００．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １５０日／１５０日	１００% １３８日／１３８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	７０１，３１０円	７６９，１００円	－６７，７９０円 ９１．１（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１０）湊山体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 101.9% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１５０日	１４８日	＋２日 １０１．３（%）	
施設利用者数	９，３１０人	１１，１９６人	－１，８８６人 ８３．１（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １５０日／１５０日	１００% １４８日／１４８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	６０６，１６０円	７９３，４７０円	－１８７，３１０円 ７６．３（%）	実績減

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１１）箕蚊屋体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 94.6% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１５０日	１４８日	＋2日 １０１．３（%）	
施設利用者数	１１，５２８人	１２，１７６人	＋６４８人 ９４．６（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １５０日／１５０日	１００% １４８日／１４８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	６６１，５５０円	７６５，９８０円	－１０４，４３０円 ８６．３（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１２）米子市営弓道場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 ２８年度から管理人の常駐を廃止し、隣接の市民球場窓口で対応。
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 106.6% 施設稼働率 100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	立入調査 ２８年度より休館日を縮小し、開館日数を増加させた。 また、利用料金の引き下げ等の改定を行った。
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （５１）点/（８５）点 ×100＝（６０） 平均点 （３．０）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１４８日	＋３５日 １２３．６（%）	休館日の縮小
施設利用者数	９，０３１人	８，４６４人	＋５６７人 １０６．６（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １８３日／１８３日	１００% １４８日／１４８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	４５２，９１４円	６２１，７１０円	－１６８，７９６円 ７２．８（%）	実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１３）米子市営武道館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 ２８年度から管理人の常駐を廃止。市民球場窓口で対応。
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 143.2% 施設稼働率　99.3%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	立入調査 利用料金の引き下げ等の改定を行った。
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （５１）点/（８５）点 ×100＝（６０．０） 平均点 （３．０）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１４９日	１４８日	＋1日 １００．６（%）	
施設利用者数	１０，４２５人	７，２７７人	＋３，１４８人 １４３．２（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．３% １４８日／１４９日	１００% １４８日／１４８日	－０．７ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３９７，２６０円	５７５，６５０円	＋１７８，３９０円 ６９．０（%）	実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１４）米子市淀江体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江運動公園事務所 館長、管理人（３人）計４人
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 115.7% 施設稼働率　100%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１５０日	１４８日	＋２日 １０１．３（%）	
施設利用者数	１４，００６人	１２，１０５人	＋１，９０１人 １１５．７（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	１００% １５０日／１５０日	１００% １４８日／１４８日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	６５４，０９０円	８４９，３０５円	＋１９５，２１５円 ７７．０（%）	実績減

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１５）米子市営淀江球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江体育館勤務者が管理
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 123.9% 施設稼働率　53.5%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１５５日	＋２８日 １１８．０（%）	
施設利用者数	８，４６９人	６，８３４人	＋１，６３５人 １２３．９（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５３．５% ９８日／１８３日	６９．７% １０８日／１５５日	－１６．２ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	８５２，３９０円	１，３７８，１４０円	－５２５，７５０円 ６１．８（%）	実績減

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１６）米子市営淀江庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江体育館勤務者が管理
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 106.1% 施設稼働率 57.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	２，２０７人	２，０８０人	＋１２７人 １０６．１（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５７．３% １０５日／１８３日	５６．３% １０３日／１８３日	－１．０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	０円	０円	±０円 １００（%）	個人使用のみ 使用料金なし

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１７）米子市営淀江スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江体育館勤務者が管理
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比　80.2% 施設稼働率　97.8%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 、１００（%）	
施設利用者数	８，４１３人	１０，４７７人	－２，０６４人 ８０．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９７．８% １７９日／１８３日	９７．８% １７９日／１８３日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５７，２４０円	４１０，４４０円	－３５３，２００円 １３．９（%）	照明使用料の実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１８）米子市営大和公園運動広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が兼務 詰所：本部 運営業務責任者（１）、巡視員（２）、清掃員（２）　計５名
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 157.6% 施設稼働率　59.5%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	B	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		
	(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）
Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）
Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）
Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）
※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。
※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１６７日	＋１６日　、１０９．５(%)	
施設利用者数	２，０５０人	１，３００人	＋７５０人 １５７．６（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５９．５% １０９日／１８３日	６０．５% １０１日／１６７日	－１．０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料金の設定なし

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（１９）米子市営東山陸上競技場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山陸上競技場事務所 所長・管理人（３）　計４人
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 93.2% 施設稼働率　98.3%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	３５，４０３人	３７，９７７人	－２，５７４人 ９３．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９８．３% １８０日／１８３日	９７．３% １７８日／１８３日	＋１．０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２８０，９８０円	５９２，０６９円	＋３３６，７５９円 ２６２．８（%）	実績減

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

試合時に近隣住民から応援の音が騒がしいとの苦情があり、法令等の違反にはならないが、鳴り物での応援を自粛してもらった。

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２０）米子市営東山補助グランド	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山陸上競技場事務所職員が管理
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 102.1% 施設稼働率 32.2%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	１１，８５４人	１１，６１０人	＋２４４人 １０２．１（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	３２．２% ５９日／１８３日	５４．１% ９９日／１８３日	＋２１．９ポイント	実績減
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２１）米子市営東山球技場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター職員が管理　詰所：市民球場
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 136.3% 施設稼働率 24.0%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１４４日	＋３９日 １２７．０（%）	実績増
施設利用者数	５，２７０人	３，８６６人	＋1，４０４人 １３６．３（%）	〃
施設稼働率＝利用日数／開館日数	２４．０% ４４日／１８３日	３２．６% ４７日／１４４日	－８．６ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２７３，６１０円	３３５，８８０円	－６２，２７０円 ８１．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２２）米子市民球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター 運営管理業務責任者兼所長 管理人（6）、作業員（1） 計８人
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 113.1% 施設稼働率 66.6%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	B	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		
	⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）
Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）
Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）
Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）
※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。
※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１７３日	＋１０日 １０５．７（%）	
施設利用者数	１７，６２７人	１５，５８５人	＋２，０４２人 １１３．１（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	６６．６% １２２日／１８３日	５７．２% ９９日／１７３日	＋９．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２，１６５，２０５円	３，１４３，５６５円	－９７８，３６０円 ６８．８（%）	実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２３）米子市営東山庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター職員が管理　詰所：市民球場
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 110.5% 施設稼働率　97.8%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	３５，８４８人	３２，４３０人	＋３，４１８人 １１０．５（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９７．８% １７９日／１８３日	９７．３% １７８日／１８３日	＋０．５ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	５，９８５，６００円	８，２３８，６００円	－２，２５３，０００円 ７２．６（%）	実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２４）米子市営東山スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター職員が管理
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 121.1% 施設稼働率 97.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	１５，２３２人	１６，９０６人	－１，６７４人 ９０．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９１．２% １６７日／１８３日	９７．３% １７８日／１８３日	－６．１ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３７８，０００円	３０１，０５０円	＋７６，９５０円 １２５．５（%）	実績増

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２５）米子市営湊山球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視（屋外体育施設等）が兼務 詰所：本部 運営業務責任者・作業員（２）・清掃員（２）　計５名
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年 115.0% 施設稼働率 57.3%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。

	⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
	⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１５９日	＋２４日 １１５．０（%）	
施設利用者数	５，１６７人	５，５９１人	－４２４人 ９２．４（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５７．３% １０５日／１８３日	６６．７% １０６日／１５９日	－９．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３７３，０２０円	５０８，５４１円	－１３５，５２１人 ７３．３（%）	実績減

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２６）米子市営湊山庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比　92.7% 施設稼働率　74.8%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	３，４８７人	３，７６１人	－２７４人 ９２．７（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	７４．８% １３７日／１８３日	７７．６% １４２日／１８３日	－２．８ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３，１５０円	０円	＋３，１５０円 （%）	２７年度は個人使用のみで使用料なし

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２７）米子市営日野川運動公園	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 147.5% 施設稼働率 49.6%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況　（野球場Ａ～Ｅ）

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	９１５日	９１５日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	１３，３１４人	８，０８０人	＋５，２３４人 １６４．７（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５２．４% ４８０日／９１５日	５７．９% ５３０日／９１５日	－５．５ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※1　利用状況　（サッカー・ラグビー場）

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	９，９６５人	７，３７３人	＋２，５９２人 １３５．１（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	６３．３% １１６日／１８３日	８０．３% １４７日／１８３日	－１７．０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※1　利用状況　（少年野球場）

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	３，５１０人	２，７０４人	＋１，２７９人 １２９．８（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	３３．３% ６１日／１８３日	２７．９% ５１日／１８３日	＋５．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２８）米子市営日野川堰運動広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 121.3% 施設稼働率　84.6%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	１０，０１０人	８，２６４人	＋１，７４６人 １２１．３（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	８４．６% １５５日／１８３日	８９．６% １６４日／１８３日	－５ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計

（別紙２）

平成２８年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２９年６月〕

施設名	（２９）米子市営河崎公園スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２８年　４月　１日　～　平成３３年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	フィットネス教室、ノルディック・ウォーク、笑いヨガ	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比　82.9% 施設稼働率　93.4%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	立入調査・資料確認

		第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	D	計画していた自主事業について実施できなかった。
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であったが、指定管理業務以外の原因による業務停止の影響もあり自主事業について実施できなかった。	合計点 （４９）点/（８５）点 ×100＝（５７．６） 平均点 （２．８）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	１８３日	１８３日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	３，３２１人	４，００６人	－６８５人 ８２．９（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９３．４% １７１日／１８３日	９５．６% １７５日／１８３日	－２．２ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２８年４～９月〕　Ａ	前年度〔平成２７年４～９月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２０６，９１０円	２０７，４８０円	－５７０円 ９９．７（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

後期に集計